

H15年  
10月分

中小企業が日本を支えている。

10月10日

「指示」を受けられた  
4つのポイント

は	背景
さ	期限
も	目的
の	能率

税務署に届出を出している法人の数が約270万社、このうち黒字申告を  
しているのが30.3%の約80万社、4,000万円以上の所得を申告しているのが  
71,076社です。4,000万円以上の申告していれば全企業の2.7%以内に入る  
優良企業というわけですよ。このうち、30人以下の企業が85%、100人以下  
とすると、99%に存ります。全労働人口の7割以上は中小企業に勤めています。

国が成り立っているのは、税金が入るからです。税金は誰が払っているの  
か、会社が払っています。ほとんどの税金は事業から生み出されます。  
もし、会社がなくなると、働く場がなくなると、個人の所得税もなくなり、お金の  
使えなくなるから、消費税も少なくなります。不動産も買えなくなるので、固定資産  
税もなくなります。よく学校の先生や、一部の評論家が会社の悪口を  
言いますが、学校の先生の給料は税金から支払われています。評論家の報酬は  
会社から支払われています。彼らは会社があるから生活できるということを  
深く認識すべきです。

我々は、企業を成長拡大させることによって、多くの雇用を生み出し、毎月給与  
を支払っています。そして法人税を払い、社員が所得税、消費税等多くの税金を  
払うことによって国が成り立っているのです。我々がなければ国は  
支えられないと思います。我々程、国家、社会に貢献している存在は  
ありません。よくマスコミで出てくる有識者という人達は立派なことを言っ  
ていますが、立派なことはやっていないので社会、国家にあまり必要はない存  
在です。中小企業は雇用を通じて、大きな社会貢献をしている大事な存在です。

大企業は、人間性よりも経済性が優先され、社員よりも利益、株主が優先され  
る存在です。私は中小企業こそが人間性を重視した経営が出来る  
日本にとって本当に大切な存在ではないかと思っています。私が5月に小  
学校の授業参観に行き、驚きました。授業を始める時に起立、礼がなく、  
座ったまま始め、名前を呼ばれても「ハイ」という返事がなく、みんなが国語の  
教科書が読まれているのです。こういう教育を受けた著者が会社に入  
って来ている。我々中小企業経営者が自己の信念に基づき、強  
制的でも教育しないと、日本全体が礼儀や規律のないたぶしの国  
になってしまいます。私達の会社では、まだまだ不十分ですが、この基本  
教育に力を入れてから、会社には活気が出て、退職者も以前より減って  
来ました。具体的には、(1)挨拶は仕事に優先する。(2)全員で駅前清掃  
社内清掃する。(3)席を立った後、椅子を机にフける。(4)落ちてくるゴミは即拾う  
(5)呼ばれたらハイと大きな声で返事をする。(6)会議が始まる時は、「よろしくお願  
いします」終わるときは、「ありがとうございます」。(7)帰るときは机の上は何も  
残さない、整理、整頓する等。幼稚園や小学校の先生から教えることを  
徹底してやっています。人が幸せになるために会社があります。人が幸せになるた  
めには、人間性を高めなければなりません。今の日本では、会社が最高の人間性を  
高める場所です。それが出来るのは、中小企業経営者の高い志と熱き想  
いからです。我々が立派な日本人を育成しましょう。